

親子聖書日課

[日]ティルスは海洋貿易で栄え、巨額の富を得「地中海の女王」と呼ばれました。高慢にも富の力によって永遠の都と思い込みました。神はそのような生き方を徹底的に忌み嫌われます。ティルスは神に打たれ「裸の岩」にされました。

[月]ティルスは「私の姿は美しさの極み」と自分自身を誇りました。その美しさは当時の世界を魅了しましたが、どこにも神に栄光を帰した様子はありません。美しさは、神の裁きには何の助けにもなりません。自分自身でなく、主を誇りましょう。

[火]3章続けてティルスへの預言が記されたのは、誰もが豊かになると自分の知恵と富を誇り、「自分の心は神の心のようにだ」と思い込むからです。自分の知恵と富に頼っては、幸せになれません。いつも主に拠り頼み、富は天に蓄えましょう。

[水]イスラエルへの帰還の預言の直前にシドンへの裁きの預言がなされました。それは、途上にあるシドンを主が裁かれるので、民は無事に捕囚の地からイスラエルへ帰り、安らかに住み着くというのです。回復の道を主は備えられました。

[木]最強の国であったエジプトを、「葦の杖にすぎない」と主は言われました。拠り頼むと折れてしまう弱い存在だからです。事実、イスラエルはこの葦の杖に欺かれ、破れました。今日の大国も同じです。折れることのない、主に拠り頼みましょう。

[金]「主の日は近い」世の終わりは確実が近づいています。その日は、全ての人主を知るに至りますが、主を信じない人は裁き主として、信じる人は救い主として主を知ります。今日、世の終わりが来て、もいように、伝道の業に励みましょう。

[土]実を結ぶためには根が大切です。根が主の豊かな命の水を吸い上げる時、人は立派に育ちます。この根とは祈りと御言葉です。聖書日課と祈りに励む人は御霊の実を結びます。早く芽を出せでなく、深く根を下ろせ主の種になりましょう。



NO.1917 2025.6/22-28

名前

	聖書	問題	答え
日	エゼキエル 26:1-21	ティルスをどんな岩にしましたか。	
月	27:1-36	ティルスは「私の姿はどのようだ」と誇りましたか。	
火	28:1-19	お前の心は富のゆえにどうなりましたか。	
水	28:20-26	イスラエルの民は、ヤコブに与えた土地に、どのように住み着きますか。	
木	29:1-21	エジプトはイスラエルの家にとって、何にすぎませんでしたか。	
金	30:1-26	主の日は、諸国民のどのような時ですか。	
土	31:1-18	豊かな水に何をおろしていたからですか。	
感想と祈りの課題			